

真田町の学力

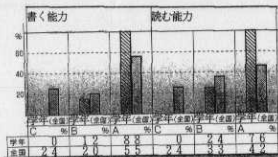
(教研式・CRT学力テスト(全国))

- 実施 2005年(平成17年)5月
- A・B・C ~ (A) 学力が高いランク (B) 学力が中間のランク (C) 学力が低いランク
- 全国 ~ 全国の学年の受験生がA・B・Cの各ランクに入る% (全国平均)
- 学年 ~ 学校の学年の受験生がA・B・Cの各ランクに入る% (学校平均)

資料 1 1

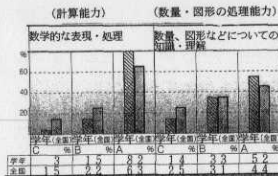
M小学校

2年 国語



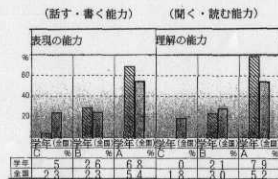
N中学校

1年 数学



S中学校

2年 英語



6月 学校給食献立表

H18.6.1

真田中学校

資料 2 1

日	曜	主 食	牛乳 の量	お か ず	栄養量			ちょっと一言(食事メモ)
					kcal	たんぱく質	食塩相当量	
1	木	バターライス	○	手作りカレーコロッケ トマトサラダ わかめスープ	810	351	30.1	真田中オリジナル、心を込めた手作りコロッケを味わいましょう。
2	金	カレー そばほろり	○	魚のほろり焼き 煮びたし サクランボ 大根と油揚げの味噌汁	811	444	52.2	矢野さん宅で収穫された地物さくらんぼ、香辛料をいただきます。
5	月	ご飯	○	さんまの甘煮 ごぼうサラダ 豚汁 青大豆	943	606	42.3	3年2組さんの希望献立、さすが給食委員長のクラス、健康によい和風献立。
6	火	ご飯	○	エビとイカのチリソース ちんげん菜のナムル ワタンスープ ミニトマト2個	750	347	34.3	中華風でまごめました。20品目の食品が使われています。
7	水	ナン	○	クランリーチキン レタスとチーズのサラダ キーマカレー ジョア	920	602	45.1	上下大会がばげれ献立。カルシウムたっぷり、香も心もしっかりますように。
8	木	ソース カツ丼	○	(ニレカツ) じゃがいもの金平 えのきの味噌汁 くだもの	833	381	36.7	上下大会「焼つけ」献立。ソースカツを食べて全力でがんばれ。
13	火	菜飯	○	たらのマヨネーズ焼き ビーンズサラダ なめ菜汁 くだもの	794	390	33.2	たらのようなあっさりとした魚は、バターマヨネーズと相性がいいです。
14	水	ご飯	○	ハムエッグ イカのマリネ 肉団子のスープ トマト	776	373	36.3	トマトには抗酸化作用がありリコピンがたっぷり。
15	木	ご飯	○	ますの煮物揚げ、じゃこ、梅、しもの入ったふりかけ じゃが芋の味噌汁	824	352	46.5	人参の味噌揚げ、じゃこ、梅、しもの入ったふりかけで食欲増進。
16	金	親子丼	○	あじの香味焼き 白菜のごまあえ 豆腐の味噌汁	794	507	41.3	父の日にちなんで親子丼にしました。
19	月	ご飯	○	揚げ豆腐の五百あんかけ 和風サラダ けんちん汁 くだもの	845	621	36.5	保健・給食週間が始まります。内食のそった朝食を摂って元気になりましょう。
20	火	梅ご飯	○	いわしあんかけ 切干大根の煮物 かき卵汁 ヨーグルト	878	761	42.2	中学時代にカルシウムをしっかり摂ることで骨粗鬆症が防げます。
21	水	ご飯	○	ワカサギのカレー揚げ 青菜のチーズあえ うずら豆の甘煮 ワカサと凍り豆腐の味噌汁	805	714	36.6	中学生に必要な1日のカルシウムは男子900mg、女子700mgです。
22	木	ひじき ご飯	○	焼きじゃも2層 五百炒り豆腐 なすの味噌汁	829	586	40.1	カルシウムは、ひじきや大豆製品にもたくさん含まれています。
23	金	青豆 ご飯	○	かわばぎの揚げ揚げ 凍豆腐の卵とじ もずくの味噌汁 ミニトマト2個	804	518	40.4	この1週間はカルシウムを意識しての献立でした。「自分を守ろう」です。
26	月	ピザパン	○	蒸しじゃようご ちくわのマリネ 春雨スープ くだもの	880	384	35.7	真田中自慢のピザパンです。楽しみたいと思います。
27	火	お茶 ご飯	○	手作りさつまあげ こがぶの即席漬 鯛そめん汁 くだもの	764	338	33.8	2学年中心のPTA試食会です。手作りさつまあげに挑戦。
28	水	ご飯	○	鮭のハーフ焼き ひじきと厚揚げの炒り煮 カレーうどん汁 くだもの	798	464	36.3	日本型の食事で健康に、量とバランスを給食から学んでほしいです。

図5-1 子どもの描画に対する農薬の影響



出典 「子どもの脳が危ない」
上智大学教授 福島 章 著
。メキシコで農薬不使用地帯と農薬多用地帯
の子供の脳への影響

ヤキ谷（メキシコのソノラ）の子どもたちが描いた代表的な絵。
上が4歳児、下が5歳児（E. A. Guilletta et al. : Environmental
Health Perspectives, 106, 347 (1998) による）

第2部 現代人の問題に栄養がいかに関連しているか

出典 「子供と大人と存せきれず」

岩手大学教授 大沢 博 著

。盛岡少年院に入院してりる生徒の入院前の食事の調査

K (中3)
朝食—たいてい食べない。登校途中で炭酸飲料かコーヒー牛乳を飲む。
昼食—友だちの弁当を食べるか、友だちに弁当を買わせていた。
間食—パン、チップス菓子を袋、ジュース、カップヌードルなど。
夕食—家では食べない。友だちの家で食事するか、喫茶店などでピラフカグラタン。
るまでにジュースとチップス菓子。ジュースは1日に5〜6本。

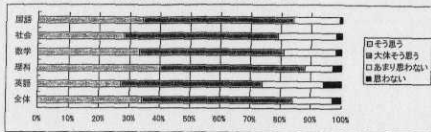
T (中3)
朝食—ほとんど食べない。
昼食—弁当（おかずはハンバーグ、ソーセージ、コロッケなど）と牛乳1本。
間食—チップス菓子、チョコレート、アイスクリーム、炭酸飲料1本、即席めんなど。
夕食—おかずは焼肉、コロッケ、サラダなど。寝るまでにチップス菓子。

ほかの3名も似たような食生活でした。精密な栄養分析ができるようなデータではありませんが、間食が多く、三度の食事の質跡さがわかります。ビタミンやミネラルの不
足、低血糖などを問題にしなければならない食生活といえるでしょう。

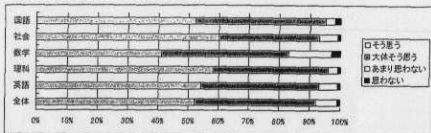
E 中学校 生徒による授業評価

資料 3 1

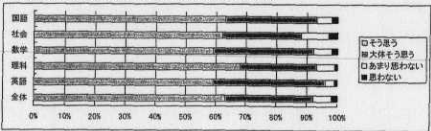
問2 授業の始めに今日の授業の目標やねらいが示されている。



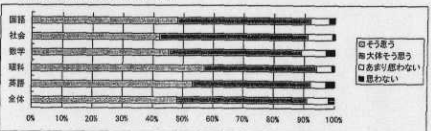
問5 質問や説明はわかりやすくいいねだ。



問6 黒板にはわかりやすい字で、ていねいに書かれている。



問7 今日の授業の内容はよくわかった。



D 小学校 保護者による学校評価

資料 4 1

グラフ摘要

- 未提出 提出なし
 その他 その他の変更
 D そう思わない
 C あまり思わない
 B 大体そう思う
 A そう思う

評価

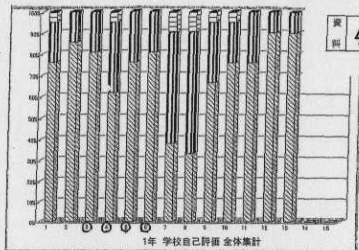
- D—そうは思わない
 C—あまり思わない
 B—大体そう思う
 A—そう思う

分類	項目	評価の観点、場面など	評価
1 教育活動全般にかかわること	①学校日よりや学級通信は、文書の内容がわかりやすく読みやすい。	学校より発行される各種プリントにおいて、紙面は見やすく工夫され、発行回数や内容は適切か。	
	②学校はわが子の提出物を、ていねいにみくれる。 ③わが子は、いきいきと学校生活をおくっている。	生活ノートや作品などへのコメントの有無。作品展示の方法は適切か。ご褒美いただいた参観日や行事のときに、積極的に活動に参加していたか。	
2 基礎学力の定着など各教科の授業にかかわること	④わが子は、学習内容を理解しようとする意欲的に学習に参加している。	授業は楽しくわかりやすく工夫されているか。	
	⑤職員は基礎学力を高めるために、授業や指導の工夫をしている。	半作や最新の教材を用意し授業にとりこんでいるか。	
	⑥職員はわが子の学力や努力を適切に評価している。	学習カードへのコメントの有無。通知票への評価や所見は適切か。	
3 生徒指導やその他の教育活動にかかわること	⑦児童生徒たちは地域の方にあいさつができる。	登下校、参観日、行事など学校で児童生徒に会ったときをみよ。	
	⑧児童生徒たちは集団生活に必要な約束やままりを守って生活している。	身なり、服装、登下校時間、交通ルールなどをとおして。	
	⑨児童生徒たちは課外活動や児童会・生徒会活動に積極的に参加しようとしている。	クラブ活動、文化祭、対外試合、休日練習の参加。	
4 保護者、地域との連携や職員の態度にかかわること	⑩職員は、礼儀正しく親切で、親しみがもてる。	参観日や行事などで来校したときの対応は、親身で適切であるか。	
	⑪わが子の心身の健康について学校に気軽に相談できる。	家庭訪問や個別相談などで、相談する機会があるか。	
	⑫本校は開かれた学校づくりをしている。	学校の様子やわかるような方針が、取られているか。	
5 各学校独自の項目(1~3項目程度)			

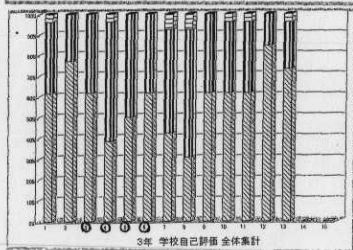
D 小学校

表 4 2

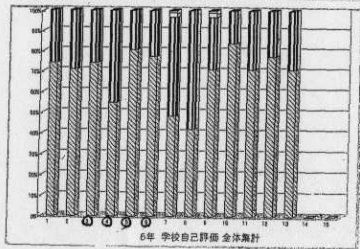
1 年生



3 年生



6 年生



信大の医師ら作成へ

中学生の生活習慣病予防プログラム

青少年のメタボリックシンドロームを考える研究会の
健康教育プログラム(案)



信大医学部(松本市)の医師らによって「青少年のメタボリックシンドロームを考える研究会」が、中学生の生活習慣病予防と早期発見の目的にした「健康教育プログラム」の作成を進めている。学校の健康診断をより効果的にするために必要な検査項目や、生活習慣病予防につながる食事や運動法を盛り込み、来年度に母と子とで授業に提案する計画。6月には、プログラム作成チームに松本市の県松文化会館市民公開講座を開く。

研究会は二〇五年の目標として、市内中学で約千人を調査し、内臓検査の結果、約3割の生徒が高脂血症、高血圧症に当たると、二項目以上で正常範囲を超えていることが判明。複数の項目で異常があった生徒の二割は肥満でなく、身長体重から算出する肥満度が低くても生活習慣病を訴えていることがわかった。プログラムは、こうした成果を基に作成する。現在は市町村などで実施するかが分かれ、検査項目も異なる血液検査

健診や食事面を提言 6日には公開講座

産に習習し、市生活習慣病の姿を見つければ、項目の検査を提案。異常が見つかった際に対応、生活習慣病予防のための食事や運動なども提言する。プログラムは、母と子とで実施する。一出席クリニック、も三中学から企画は、松本市、信大医学部教授は、「五年生を迎える調査を予定して情報発信し、将来的には高脂血症青少年の生活習慣病に取り組み国内の拠点にしたい」と話している。6日は、信大医学部の教員らが生活習慣病プログラム案について医師の保健師、検査技師、管理栄養士の立場からそれぞれ説明、パネル討論のほか、本郷教授の講演「長野県での生活習慣病の現状と対策」などもある。午後二時半～五時半、無料。問い合わせは本郷教授(0203)3000344(0203)3000344)。

高校生4割予備軍

生活習慣病

高校生生活習慣病、高血圧や中高脂血症、高血糖などの基準値を超え、生活習慣病予備軍と判定された。予備軍は、生活習慣病の発症を防ぐには、生活習慣病予防プログラムを作成し、実践することが重要とされている。予備軍は、生活習慣病の発症を防ぐには、生活習慣病予防プログラムを作成し、実践することが重要とされている。

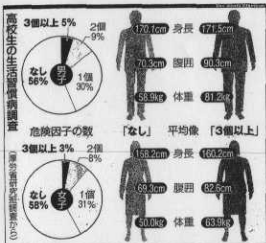
厚労省調査

厚労省が全国の高校生を対象に実施した調査で、予備軍と判定されたのは、全体の4割に達した。予備軍は、生活習慣病の発症を防ぐには、生活習慣病予防プログラムを作成し、実践することが重要とされている。

10〜20代での対策重要

成人のメタボリック症候群の発症防止に携わった中野正一、川原隆雄(厚労省)と副院長長(信大)の調査結果は、生活習慣病の発症を防ぐには、生活習慣病予防プログラムを作成し、実践することが重要とされている。10〜20代での対策が重要とされている。10〜20代での対策が重要とされている。

TV長時間→高血圧



千葉、東京、岡山等の調査の結果、予備軍と判定されたのは、全体の4割に達した。予備軍は、生活習慣病の発症を防ぐには、生活習慣病予防プログラムを作成し、実践することが重要とされている。

予備軍と判定されたのは、全体の4割に達した。予備軍は、生活習慣病の発症を防ぐには、生活習慣病予防プログラムを作成し、実践することが重要とされている。10〜20代での対策が重要とされている。10〜20代での対策が重要とされている。

新産経

THE SANKEI SHIPING CO., LTD.
1-1-1, MARUICHI, NAKAGYO-KU, KYOTO

本社 東京都千代田区丸の内一丁目一番一
電話 03-3251-1111
FAX 03-3251-1112
支店 札幌 仙台 東京 横浜 名古屋 大阪 福岡 札幌 仙台 東京 横浜 名古屋 大阪 福岡



「米の生産量は、1年間で約100万トン増加した」という見込みだ。これは、米の生産量が、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。これは、米の生産量が、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。

米

表1 米の生産量(単位:千トン)

品名	2008年	2009年(推定)
白米	1000	1100
雑穀	500	600
合計	1500	1700

表2 米の消費量(単位:千トン)

品名	2008年	2009年(推定)
食糧用	1000	1100
工業用	200	200
合計	1200	1300

表3 米の在庫(単位:千トン)

品名	2008年	2009年(推定)
食糧用	500	600
工業用	100	100
合計	600	700

米の生産量は、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。これは、米の生産量が、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。



「米の生産量は、1年間で約100万トン増加した」という見込みだ。これは、米の生産量が、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。

米

表1 米の生産量(単位:千トン)

品名	2008年	2009年(推定)
白米	1000	1100
雑穀	500	600
合計	1500	1700

表2 米の消費量(単位:千トン)

品名	2008年	2009年(推定)
食糧用	1000	1100
工業用	200	200
合計	1200	1300

表3 米の在庫(単位:千トン)

品名	2008年	2009年(推定)
食糧用	500	600
工業用	100	100
合計	600	700

米の生産量は、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。これは、米の生産量が、1年間で約100万トン増加したという見込みだ。

耕作放棄地

13万畝 復元困難

初の水省森林・原野化で

農林水産省は7日、耕作放棄された農地の実態に関する初の調査結果を発表した。現状で耕作し使えない農地は計1万4千4百42ヘクタールで、全国面積の約1割に相当する。1万5千平方メートルで森林・原野が徐々に回復する可能性があるという。

長野は6600ヘクタール 2番目

都道府県別で農地確保状況だったが、手入れされない農地は左の県の割合が多かった。長野県(1万1千1百00ヘクタール)、群馬県(6千6百50ヘクタール)、岡山県(6千5百50ヘクタール)の順だ。農家に耕作の意思がない農地は3万8千平方メートル、耕作放棄地は1万5千平方メートル、調査は08年度に実施した。

現状では利用できない農地の内訳

森林・原野化への復元	13.0%
農地	6.7%
利用可能	3.2%
合計	28.4%

た、農地がない地域を少なくして、現地の農業委員会をして、農地を回復させる。これは、耕作し使えない農地の復元を促進する。調査は08年度に実施した。

千畝、復元の大規模な基礎整備が必要なのは2万平方メートル、森林・原野化は1万平方メートル、農地利用が容易な1万平方メートル、耕作放棄地の割合が約1割に相当する。1万5千平方メートルで森林・原野が徐々に回復する可能性があるという。

町村や農業委員会の調査結果によれば、県の3月末時点の耕作放棄地は1万5千平方メートルに上った。このうち、森林・原野が復元できないと推定された6千6百50ヘクタールの規模、県内では対策が急務という。